



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月13日

上場会社名 株式会社 ティア 上場取引所 東 名
コード番号 2485 URL <https://www.tear.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富安 徳久
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画本部長 (氏名) 辻 耕平 TEL 052-918-8254
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	16,419	△2.0	936	△48.6	787	△56.3	378	△66.6
2025年9月期第3四半期	16,760	20.5	1,823	46.5	1,803	70.1	1,131	69.2

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 560百万円 (△47.0%) 2025年9月期第3四半期 1,058百万円 (58.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	16.80	—
2025年9月期第3四半期	50.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	27,238	8,713	32.0
2025年9月期	27,868	8,603	30.9

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 8,713百万円 2025年9月期 8,603百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年9月期	—	10.00	—		
2026年9月期（予想）				13.00	23.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2026年9月期（予想）期末配当の内訳 普通配当10円00銭、創業30周年記念配当3円00銭

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,950	1.8	1,075	△34.6	875	△44.5	500	△43.9	22.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 共創株式会社・株式会社ティアネクスト

除外 1社 (社名) 株式会社メモリアホール西野山の手

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期3Q	22,510,100株	2025年9月期	22,510,100株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	7,758株	2025年9月期	7,758株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期3Q	22,502,342株	2025年9月期3Q	22,504,693株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、景況の変化等により、本資料予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格上昇による景気の下押し要因はあるものの、高水準の企業収益や雇用・所得環境の改善等により緩やかに回復しております。また、先行きに対しましては、政府の経済対策や緩和的な金融環境に支えられ、今後も緩やかに回復するものとみられておりますが、中東情勢の緊迫化による国際金融市場の動向や資源価格の上昇等、先行きに対する不透明感は拭えない状況であります。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、核家族化や葬祭規模の縮小等により、葬儀単価の減少傾向が続いております。また、直近の葬儀業界といたしましては、死亡数を背景とした葬儀ニーズ、葬儀業界の売上高共に前年同期を下回る水準で推移しております。

かかる環境下、当社グループは顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。また、M&Aによるグループ化を重要な戦略と位置づけており、2025年7月1日付で北海道札幌市を中心に葬儀会館を3店舗運営する「株式会社メモリアジャパン」及び関係会社（現在、ティア北海道に社名変更）を子会社化しております。さらに、葬儀を起点とした生前・葬儀後のサービスを提供するトータル・ライフ・デザイン事業の拡大にも取り組んでおります。その一環として、不動産売買及び相続サポート事業を担う株式会社ティアネクスト（2026年4月1日付・当社100%子会社）を設立いたしました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、「新生ティアグループ」のスローガンのもと、中期経営計画を策定し4項目のテーマを設け8つの戦略を推進しております。新規出店の状況につきましては、直営では愛知県下に2店舗、三重県下に1店舗、埼玉県下に1店舗を開設すると共に、「ティア笠寺」をリニューアルオープンいたしました。また、東海典礼が愛知県下に1店舗、フランチャイズが東京都内に1店舗を開設し、これにより当社グループによる会館数は合計225店舗（直営100店舗、フランチャイズ75店舗、八光殿21店舗、東海典礼26店舗、ティア北海道3店舗）となりました。

売上高におきましては、ティア北海道の通年寄与による増収効果及び不動産事業の売上高が順調に拡大したものの、葬祭事業が前年同期の葬儀件数増加による反動減もあり低調な推移となりました。

売上原価におきましては、葬祭事業の商品原価率は低下したものの、固定費の負担割合が上昇し、経費面では営業促進実施に伴う広告宣伝費、賃金制度改定による人件費、ティア北海道の通年寄与に伴う経費等が増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は164億19百万円（前年同期比2.0%減）となり、売上原価率は前年同期と比べ1.9ポイント上昇し、販売費及び一般管理費は前年同期比9.3%増となりました。これにより、営業利益は9億36百万円（同48.6%減）、経常利益では7億87百万円（同56.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億78百万円（同66.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、直営では「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等に取り組んでまいりました。葬儀件数におきましては、新たに開設した会館の稼働の効果はあったものの、既存店が前年同期を下回り、前年同期比4.9%減の11,710件となりました。葬儀単価におきましては、供花売上の単価は上昇したものの、祭壇売上・葬儀付帯品の単価がそれぞれ低下し、前年同期比0.6%減となりました。

また、グループ各社の葬儀件数の状況としましては、八光殿及び関連ブランドの葬儀件数は1,670件（同4.4%減）、東海典礼及び関連ブランドは1,250件（同1.3%減）、ティア北海道は138件となりました。

この結果、葬祭事業の葬儀件数は前年同期比3.6%減の14,768件、葬儀単価は0.9%減となり、売上高は147億55百万円（同4.3%減）、営業利益は21億93百万円（同27.8%減）となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、F C会館の既存店の売上高が前年同期比で減収となったことにより、ロイヤリティ売上、物品販売等が減少し、これにより売上高は3億75百万円（同11.3%減）、営業利益は53百万円（同24.7%減）となりました。

(c) その他事業

その他事業は、不動産事業、リユース事業等で構成されております。

不動産事業につきましては、買取・販売の件数が増加し、リユース事業ではリピーター向け営業促進の実施により買取件数が増加いたしました。これにより、その他事業の売上高は12億88百万円（同40.8%増）、営業利益は1億45百万円（同117.5%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は54億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億78百万円減少いたしました。これは主に商品が1億39百万円増加したものの、現金及び預金が7億26百万円減少したことによるものであります。固定資産は217億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物が1億99百万円、投資その他の資産のその他が94百万円増加したものの、のれんが3億13百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、272億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億30百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は58億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億25百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が2億91百万円、賞与引当金が1億34百万円減少したものの、短期借入金が2億7百万円増加したことによるものであります。固定負債は126億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億15百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が4億35百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、185億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億41百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は87億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億10百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益3億78百万円及び剰余金の配当4億50百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び第4四半期連結会計期間の見通しを踏まえ、2025年11月13日に公表（期初予想）いたしました「連結業績予想」「個別業績予想」を修正いたしました。葬祭事業がティア北海道の通年稼働に伴う効果はあるものの、前年同期の葬儀件数増加による反動減により、葬儀件数が前期比0.4%増に留まる見通しとなっております。（期初予想比10.8%減）

また、利益におきましては、経費は想定を下回る見通しであるものの、（期初予想比3億38百万円減）、売上高が期初予想に対して減収となるのに加え、売上原価率が上昇（期初予想と比べ2.7ポイント上昇）する見通しとなっております。

これにより、通期連結業績予想は期初予想に対し、売上高は17億50百万円の減収となる見通しであり、利益におきましては、営業利益で9億60百万円、経常利益では9億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で5億50百万円のそれぞれ減益となる見通しであります。

また、個別業績予想につきましても、同理由により期初予想を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,541	3,815
売掛金及び契約資産	984	974
商品	112	251
貯蔵品	78	76
その他	346	373
貸倒引当金	△15	△21
流動資産合計	6,047	5,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,141	10,340
土地	2,085	2,085
その他（純額）	854	814
有形固定資産合計	13,081	13,240
無形固定資産		
のれん	5,462	5,148
顧客関連資産	1,046	987
その他	297	345
無形固定資産合計	6,806	6,481
投資その他の資産		
差入保証金	1,133	1,151
その他	804	899
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	1,933	2,047
固定資産合計	21,821	21,769
資産合計	27,868	27,238
負債の部		
流動負債		
買掛金	453	352
短期借入金	292	499
1年内償還予定の社債	71	71
1年内返済予定の長期借入金	954	990
契約負債	2,166	2,195
未払法人税等	361	70
賞与引当金	383	249
資産除去債務	36	—
その他	1,386	1,452
流動負債合計	6,106	5,881
固定負債		
社債	405	356
長期借入金	10,301	9,866
退職給付に係る負債	64	69
役員退職慰労引当金	2	2
資産除去債務	1,839	1,873
その他	545	475
固定負債合計	13,158	12,642
負債合計	19,265	18,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,895	1,895
資本剰余金	1,528	1,528
利益剰余金	5,205	5,133
自己株式	△2	△2
株主資本合計	8,627	8,555

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△24	158
その他の包括利益累計額合計	△24	158
純資産合計	8,603	8,713
負債純資産合計	27,868	27,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	16,760	16,419
売上原価	10,153	10,252
売上総利益	6,606	6,167
販売費及び一般管理費	4,783	5,230
営業利益	1,823	936
営業外収益		
受取利息	2	3
受取家賃	26	25
受取保険金	61	0
その他	34	24
営業外収益合計	126	54
営業外費用		
支払利息	119	186
その他	26	16
営業外費用合計	145	203
経常利益	1,803	787
税金等調整前四半期純利益	1,803	787
法人税、住民税及び事業税	675	372
法人税等調整額	△3	36
法人税等合計	672	409
四半期純利益	1,131	378
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,131	378

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	1,131	378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
繰延ヘッジ損益	△73	182
その他の包括利益合計	△73	182
四半期包括利益	1,058	560
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,058	560
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

中間連結会計期間において、共創株式会社は、2026年2月1日付で当社の連結子会社である株式会社ティアサービスが株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を2026年3月31日としているため、中間連結会計期間は貸借対照表のみ連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書についても連結しております。

当第3四半期連結会計期間において、2026年4月1日付で株式会社ティアネクストを設立し、連結の範囲に含めております。

また、2025年10月1日付で株式会社メモリアホール西野山の手は、当社の連結子会社である株式会社メモリアジャパンを存続会社とする吸収合併を行った結果、連結の範囲から除外しております。なお、同日付で株式会社メモリアジャパンは、株式会社ティア北海道へ社名を変更しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	792百万円	842百万円
のれん償却額	302	318

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計				
売上高							
葬儀施行関連	15,355	—	15,355	—	15,355	—	15,355
その他	65	423	488	915	1,404	—	1,404
顧客との契約から生 じる収益	15,421	423	15,844	915	16,760	—	16,760
外部顧客への売上高	15,421	423	15,844	915	16,760	—	16,760
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	5	35	40	△40	—
計	15,426	423	15,849	951	16,801	△40	16,760
セグメント利益	3,039	71	3,110	66	3,177	△1,354	1,823

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、リユース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,354百万円には、セグメント間取引消去△40百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,313百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計				
売上高							
葬儀施行関連	14,687	—	14,687	—	14,687	—	14,687
その他	67	375	443	1,288	1,732	—	1,732
顧客との契約から生 じる収益	14,755	375	15,131	1,288	16,419	—	16,419
外部顧客への売上高	14,755	375	15,131	1,288	16,419	—	16,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	48	49	△49	—
計	14,756	375	15,132	1,337	16,469	△49	16,419
セグメント利益	2,193	53	2,247	145	2,393	△1,456	936

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、リユース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,456百万円には、セグメント間取引消去△49百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,406百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。